

ついでにミニネクター

ミニネ7
No.10

（起立は「耳」ではなく「目」で立て）

なにかと式練習が多くなる3学期。そんな季節にピッタリの子どもたちにすばやく起立をさせるコツをお教えします。

「起立！」と号令をかけてもなかなか一斉にドットとは立っていないものです。ここで「何しているの？しつかり立ちなさい！」などという説教は、見当はずれです。

かわりに、次のように指示します。「起立するときほ、『起立』という声で立つのではないのです。号令をかける先生の口に注目し、口が『きりつ』の『つ』となったとき（『つ』と発声する口形になったとき）に立つのです」

この指示で、まさにドット一斉に立てるようになります。そればかりでなく、子どもたちは自分たちが起立するタイミングに気を付けるようになります。

さらに、起立して椅子を入れ、ビシッと静止するまでの

時間を計ると、当初ダラダラ数秒かかっていたのが、数ヶ月で2秒台になります。（現在私の学級では1秒フラットが新記録です。目標は1秒切りです！）記録は黒板の隅にでも書いておきます。そして毎日何度も繰り返される「起立」の度にこの時間を意識させるのです。

例えば「1秒でビシッと立てる君が、何でそんなにダラダラ立つのか？それでは何の意味もない！」と突っ込むのです。子どもたちの動きが変わります。



イラスト | 吉田朋子